ひなんものがたり





2



「台風が近くに来たり、大雨になったりするときは、
ふだんとちがうことが起こることがあるのよ。」



「どんなことが起こるの？」



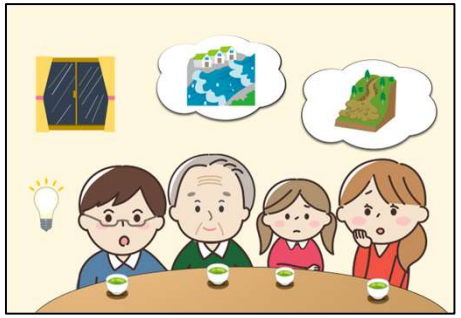
「お買い物に行けなくなるかもしれないのよ。
それと、水が出なくなることもあるの。」

そこで、
必要になりそうなものを準備することにしました。

コラム１　「避難に必要な非常持出品や備蓄品を準備しよう！」
＊非常持出品や備蓄品の一覧は、次のQRコードで確認できます。

広島県「みんなで減災」はじめの一歩ポータルサイト(防災グッズ一覧)　▶


ラーメン
カップラーメン
水
水
お米
お米
レトルトカレー



３

しばらくすると、雨が降り始め、風も強くなってきました。



「山と川が近いけど、おうちにいても大丈夫かしら。」

お母さんは心配そうです。



「そうだね。山から土や木などが流れる土石流というものや、川の水があふれる洪水というものが起こるかもしれないな。」

お父さんも心配そうです。

ところが、おじいちゃんは、



「山と川は、そんなには近くないから、大丈夫じゃろ。」

と、言っています。



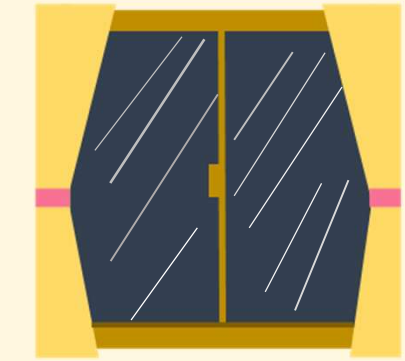
「え～？　本当に大丈夫なの？なにか調べる方法はないの？」

と、まこちゃんがたずねました。

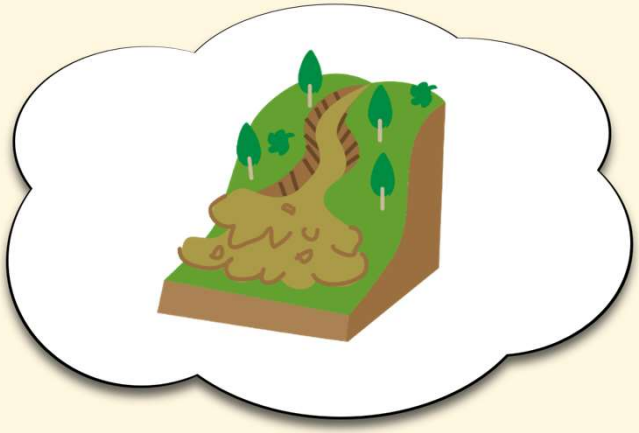


「あ！いいものがあるよ！」

お父さんは、何を見せてくれるのかな？











「あ、うちはここね！
黄色くなっているのはなに？」

「黄色で塗られているところは、大雨のときに、
土石流で危なくなる場所なんだ。そして、
赤く色が塗られているところは、
洪水で危なくなる場所なんだよ。」

「まあ！うちにいると危ないっていうことね！
雨が降り続いたら、
安全な場所に避難した方がいいわね。」

「そうだね。
ハザードマップに載っている避難所に行こう！」

「えーっと、
避難所までは、どの道を通ったらいいかしら？」

「遠いけど、色が塗られていない道が
いいだろうなあ。
どのくらい時間がかかるかなぁ。」

「ふだんから避難する場所を決めて、
歩いておけばよかったわね。」

見せてくれたのは、ハザードマップという地図でした。



4

コラム2 「ハザードマップを見ておこう！」

①自宅やその周辺の、土砂災害、洪水、高潮の危険性を確認しましょう。
②安全な避難先を、2つ以上決めましょう。
・市町が指定する避難所は、ハザードマップで確認できます。
・親戚や知人の家、ホテルなども避難先の候補として検討しましょう。
・自宅が安全な場合は、「自宅」を避難先にすることが可能です。
（避難先は、災害種別ごとに確認が必要です。）
③安全な避難経路を歩いておきましょう。
＊ハザードマップは、次のQRコードで確認できます。　ハザードマップポータルサイトHP ▶

ハザードマップ





5

さて、みんなで晩御飯を食べていると、
ピカピカ、ゴロゴロ、雷です！
テレビのアナウンサーが、



「危ない場所にいる人は避難しましょう！」
と、言っています。

それを聞いて、あわてて、まこちゃんは言いました。



「みんなで避難所に行こうよ！」

ところが、おじいちゃんは、



「え？なんで？大丈夫じゃよ。ここでは
土石流や洪水は起こったことがないんじゃから、
大丈夫じゃよ。」

おうちにいようと言うのです。

そんなやりとりをしていると…

コラム3 「災害時の情報収集方法を確認しておこう！」
テレビやラジオ、スマートフォンなど、複数の手段で確認しておきましょう。
＊災害時に役立つ情報は、次のQRコードで確認できます。

「災害時、見てほしい情報」
～適切な避難行動のための防災情報ポータルサイト｜広島県HP ▶

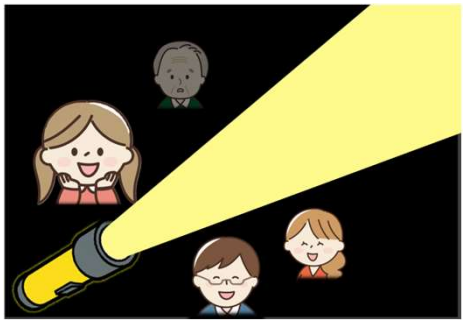

ひなん しましょう



6

あら？　まっくら！
停電になってしまったみたいです！
まわりが見えないと、危ないよね！
どうしましょう！
…とそのとき！





7

どこからか、明るい光が部屋を照らしました。



「おお！まこちゃんありがとう！」



「懐中電灯を、準備しておいてよかった！」



「そうね！さあ！
もっと危ないことが起こる前に、避難所に行きましょう！」



「うーむ」

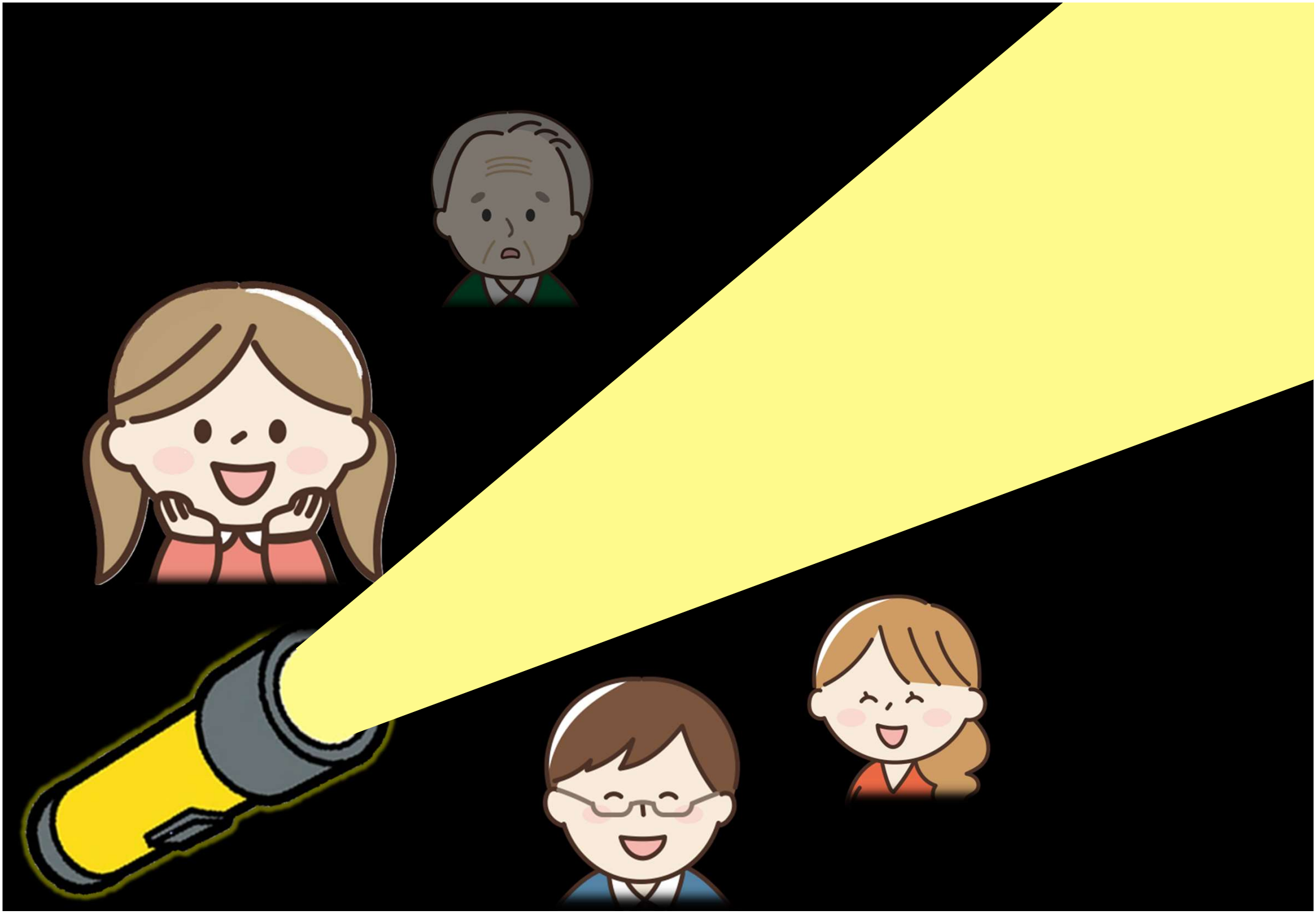
おや？
おじいちゃんは、それでもまだ行かなくていいと思ってるみたい。

すると、そこに、



「おーい、ひろしさーん！」

だれかやってきました。





８

現れたのは、近所に住んでいる、よしおさんです。



「まだ避難してないんか！
はよせんと助からんぞ！」

外を見ると、おうちの近くの川があふれそうになっていました。



「このままうちにいると危ないな。
わしも避難所に行くぞ。
よしおさん、声をかけてくれてありがとう！」





9

そうして、まこちゃんたちは、避難を始めました。
おじいちゃんは、ひざが痛くて、歩くのに時間がかかります。
すると、空がどんどん暗くなり、雨と風がいよいよはげしくなってきました。
道には、ところどころに、深く水がたまっています。



「みんなにこわい思いをさせてすまん…
もっと早く避難所に向かえばよかった。」

果たして、まこちゃん家族の運命やいかに！



「あ、避難所が見えたぞ！」

ハザードマップで、道順を調べていたので、
なんとか避難所にたどり着くことができました。

ちょうどそのころ、まこちゃんたちのおうちは、
土石流に巻き込まれていました。
かなしいけど、
避難して、命は助かって、よかったね。

コラム4 「避難のタイミングを決めておこう！」

避難に時間のかかる人は早めに避難を開始しましょう。

＊避難情報の発令状況は、次のQRコードから確認できます。

◀ 広島県防災Webポータルサイト

【避難情報の例】

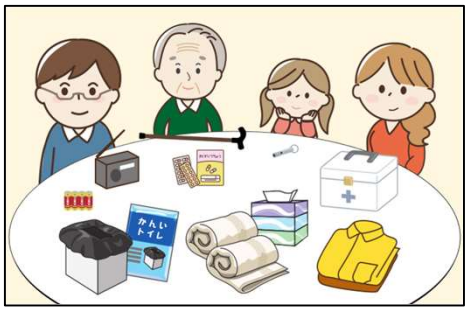
警戒レベル3 高齢者等避難	危険な場所にいる人、避難に時間を要する人（高齢者の方、車いすが必要な方、乳幼児等）は避難
警戒レベル4 避難指示	危険な場所にいる人は全員避難

←※ 8画面を読み終えたら、このラインまで右側に引き、読み始めます。（まこちゃん家族の運命やいかに！）まで読み終えたら、全部引きぬいて、残りを読みましょう。
（9場面は物語が半分ずつ展開します）

表面の様子




ひなんじょ



１０

このあと、まこちゃん家族は、
新しいおうちで、この避難をふりかえり、
よかったところ、直したほうがいいところを
話し合いました。

必要なものも、もっと準備したので、
安心して暮らすことができました。

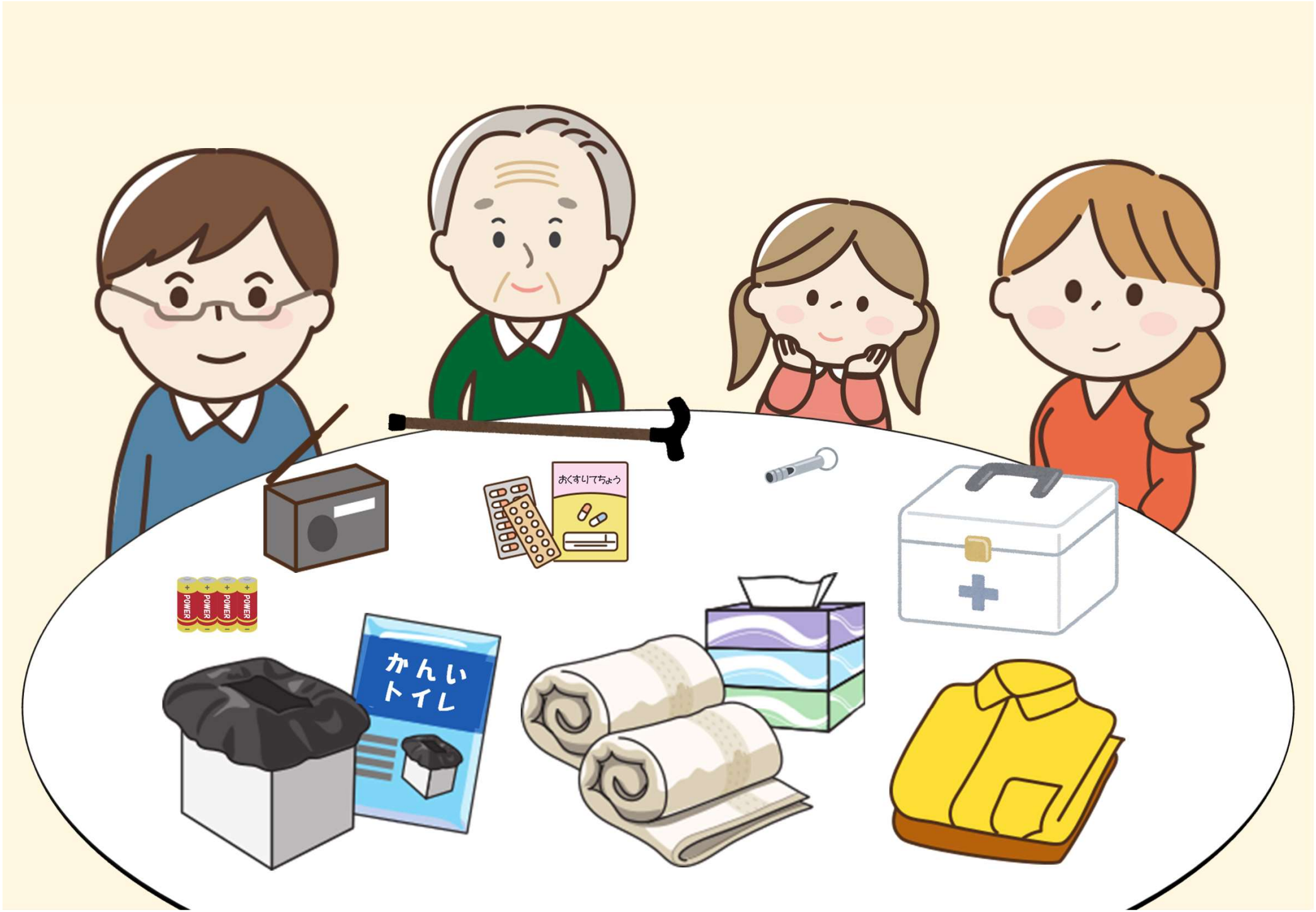
みんなも、おうちの人と話し合って、
安全な場所に、早めに避難できるように
しておきましょうね。

そして、いざというときには、
みんなで大切な命を守りましょう！

コラム５ 「 LINE版マイ・タイムラインを作成しよう！」

住所を入力するだけで、周辺の危険な場所や、最寄りの避難所を確認できます。
危険が迫ったときは、LINEで避難情報が通知されます。
＊LINE版マイ・タイムラインの作成方法は、次のQRコードから確認できます。

広島県「みんなで減災」はじめの一歩ポータルサイト ▶


おくすりてちょう
かんい
トイレ



Ⅰ

『ひなんもののがたり』

（ロングバージョン）

作：広島県 危機管理監 みんなで減災推進課

（二〇二六年七月二十三日 第二版）

小学生のまこちゃんは、
お父さん、お母さん、そして
ひろしおじいちゃんと一緒に暮らしています。
おうちの近くには、山と川があります。

ある日のこと、テレビの天気予報を見ていると…
おや？これは何かな？



「台風が発生したみたいだね！」
お父さんが言いました。



「近くに来るみたいね。大雨になるって言ってるわ！
風も強くなるんだって！
どうしましょう！」
お母さんは心配そうです。